

<2017年3月期 第3四半期>

第3四半期補足説明／成長戦略説明資料

---

データセクション株式会社

2017年 2月13日

証券コード：3905



1. 全体サマリー
2. 2017年3月期 第3四半期実績
3. 3Qの取り組みと中長期的なビジョン
4. 中長期的な事業戦略
5. データセクションの事業コンセプト
6. コーポレートメッセージ

## 3Qの実績

- ▶ 第3四半期 (3カ月) の売上高は、当第2四半期に続き、四半期ベースで過去最高の売上高を達成。
- ▶ 第16期1～3Q営業利益9百万円に対し、第17期1～3Qの営業利益は49百万円と前年同期比543% (+443%) となった。

## 3Qの成果

- ▶ 既に収益化できている事業においては、昨年度と比較して海外SNS分析や不適切画像AIフィルタリングサービスが大幅に売上増加しており、4Q及び来期以降の大きな売上増加が期待できる。
- ▶ IoT社会のプラットフォーマーとしてのポジションを確立すべく、種まきをしていた研究開発事業の具体化を実施。

### 実施内容

- ①大和ハウスグループのフレームワークスと業務提携を行い、物流業界の最適化を目指して共同研究開発を開始した。
- ②中部経済新聞社の70周年記念企画「AI記者」にて、自動記事執筆を行った。100を超すメディアに掲載され、AIによる自動記事生成の技術が高い評価を得た。
- ③ファンド運用が好調。運用モデルの継続的な改善により、2016年の年間実績がロング・ショート戦略の著名ファンドの中でもトップクラスとなった。

## 2. 2017年3月期 第3四半期実績（損益計算書／連結）



- ▶ 積極的な人材投資活動により営業費用が26%増加するも、営業費用の増加を上回る売上を計上。1～3Qの営業利益が前年同期比で543 % (+443%) となった。
- ▶ 3Q終了時点で昨年度通年実績の約95%の売上を達成。第17期通算で増収が確実となった。

(単位：百万円)

	第16期 (通期)	第17期		増減額	増減率
		第16期 (1～3Q)	第17期 (1～3Q)		
売上高	439	299	415	116	39%
営業費用	411	289	365	76	26%
営業利益	28	9	49	40	443%
経常利益	36	14	45	31	222%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	26	10	30	20	196%

## 2. 2017年3月期 第3四半期実績（貸借対照表／連結）



- ▶流動資産の増加は、現金及び預金の増加 (34百万円)及び受取手形の減少 (△36百万円)が要因である。
- ▶固定資産の増加は、投資有価証券の増加 (38百万円) が主要因である。
- ▶負債の増加は、未払法人税等の増加 (16百万円) が主要因である。

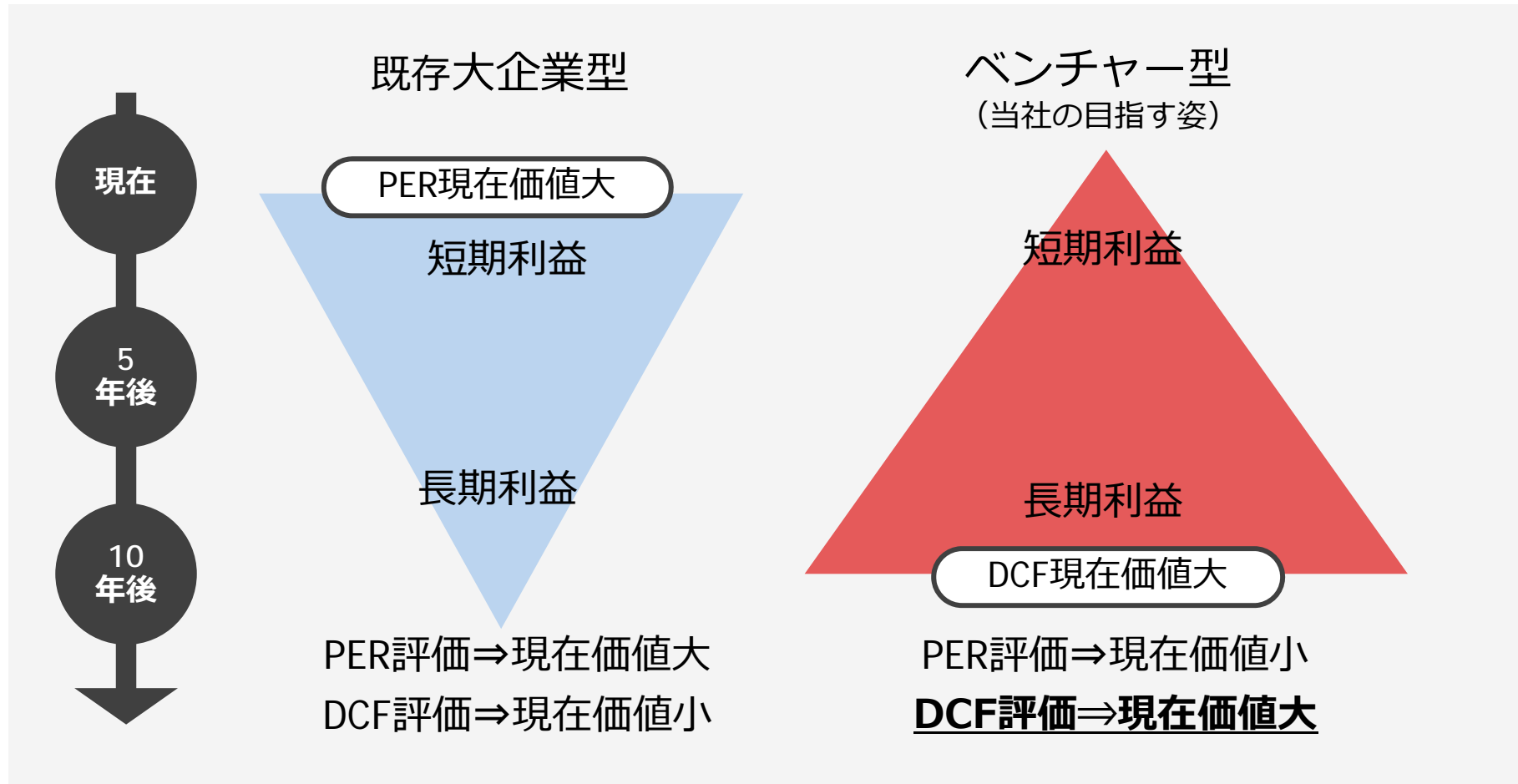
(単位：百万円)

		第16期末 (連結)	第17期 第3四半期末 (連結)	増減額
資産	流動資産	852	862	10
	固定資産	214	287	73
	資産合計	1,066	1,150	84
負債 純資産	負債合計	54	88	34
	純資産	1,011	1,061	49
	負債純資産 合計	1,066	1,150	84

### 基本姿勢

データセクションの経営方針 = DCF基準での現在価値最大化

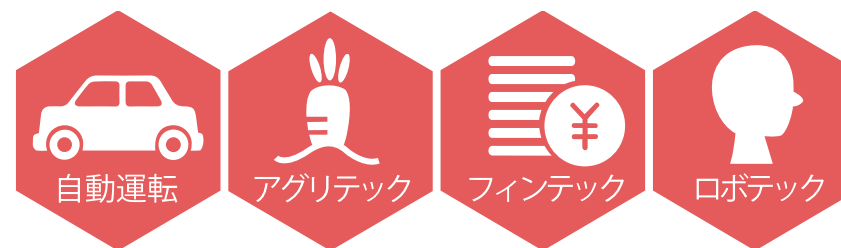
→短期的な売上最大化ではなく、長期的な成長を重視し、人材・開発に積極的に投資



安定的に収益を伸ばせる事業と、今後大きな収益化が望める事業の二軸で  
収益増をはかる



A. 安定的に収益を伸ばせる事業



B. 今後大きな収益化が望める事業

大規模データ収集/解析技術

自然言語処理技術

AI（深層学習）技術

AI技術基盤/ビッグデータ基盤

# ソーシャルメディアマーケティングについては、堅調に推移 海外SNS分析、不適切画像AIフィルタリングサービスは大幅に売上増

### 3Q総括

#### ソーシャルメディア マーケティング

■コンサルティング案件が堅調など、4Qも好調な受注状況で、来期も安定的な売上増加を期待できる。

#### 海外SNS分析

■外国人観光客の調査事業は、日本政府観光局の案件を受託。これらにより、昨年度から大幅に売上を伸ばすことができた。各都道府県の自治体と進行中の商談を進めるとともに、引き続きの大型受注を目指す。

■従来の海外ソーシャルメディア調査に、海外オンラインアンケート調査を組み合わせたリサーチ&コンサルティングサービスを提供。情報取得手段の拡大により、網羅的な調査ソリューションが可能となった。

#### 不適切画像 AIフィルタリング サービス

■ディープラーニング技術を活用した不適切画像フィルタリングサービスの売上が大幅にあがるなど、昨年度に比較し売上を伸ばすことができた。4Q以降の受注状況も順調。タイやインドにおいても本サービスの販売に向け商談中。

■CEATEC出展を契機に、新規顧客との商談が多数進行中。



## IoT×AIをキーワードに新規事業を推進

IoT社会を支える AIデータ解析のインフラを目指す



センサーにより容易にビッグデータ化



### B-1 ロボテック×データセクション

#### 3Qの取り組み



#### 自動記事執筆の取り組み

中部経済新聞社の70周年記念企画「AI記者」にて、自動記事執筆を行った。自然言語処理技術にディープラーニングの技術を組み合わせることによって、精度の高い記事を自動生成し、高い評価を得た。

#### VISION

コールセンターの自動応答システムや、音声アシスタント端末など、自然言語によるユーザーインターフェースのコアAI技術獲得を目指す。



## B-2 フィンテック×データセクション

### 3Qの取り組み

#### 安定した高い運用パフォーマンスを実現

現在売上への寄与度合いは小さいが、運用モデルの継続的な改善により、2016年の年間実績がロング・ショート戦略の著名ファンドの中でもトップクラスとなった。これにより、当ファンドに多くの資金が集まることが期待でき、大幅な売上増が期待できる。

### VISION

AIがファンドマネージャを超す技術的イノベーションを起こし、人手でまかなわれている数十兆円の資産運用を、AIによる運用へ置き換えていくことを目指す。



## B-3 ロジスティクス×データセクション

### 3Qの取り組み

#### 物流最適化事業の開発に着手

大和ハウスグループのフレームワークスと業務提携を行い、共同研究開発を開始した。

### VISION

IoT 機器やドローンの使用により変革期にある物流業界にAIを導入、活用することで、従来の労働集約型のビジネスモデルからの脱却を目指す。

### 積極的な海外展開

急速に拡大する、海外でのAI市場を取り込む

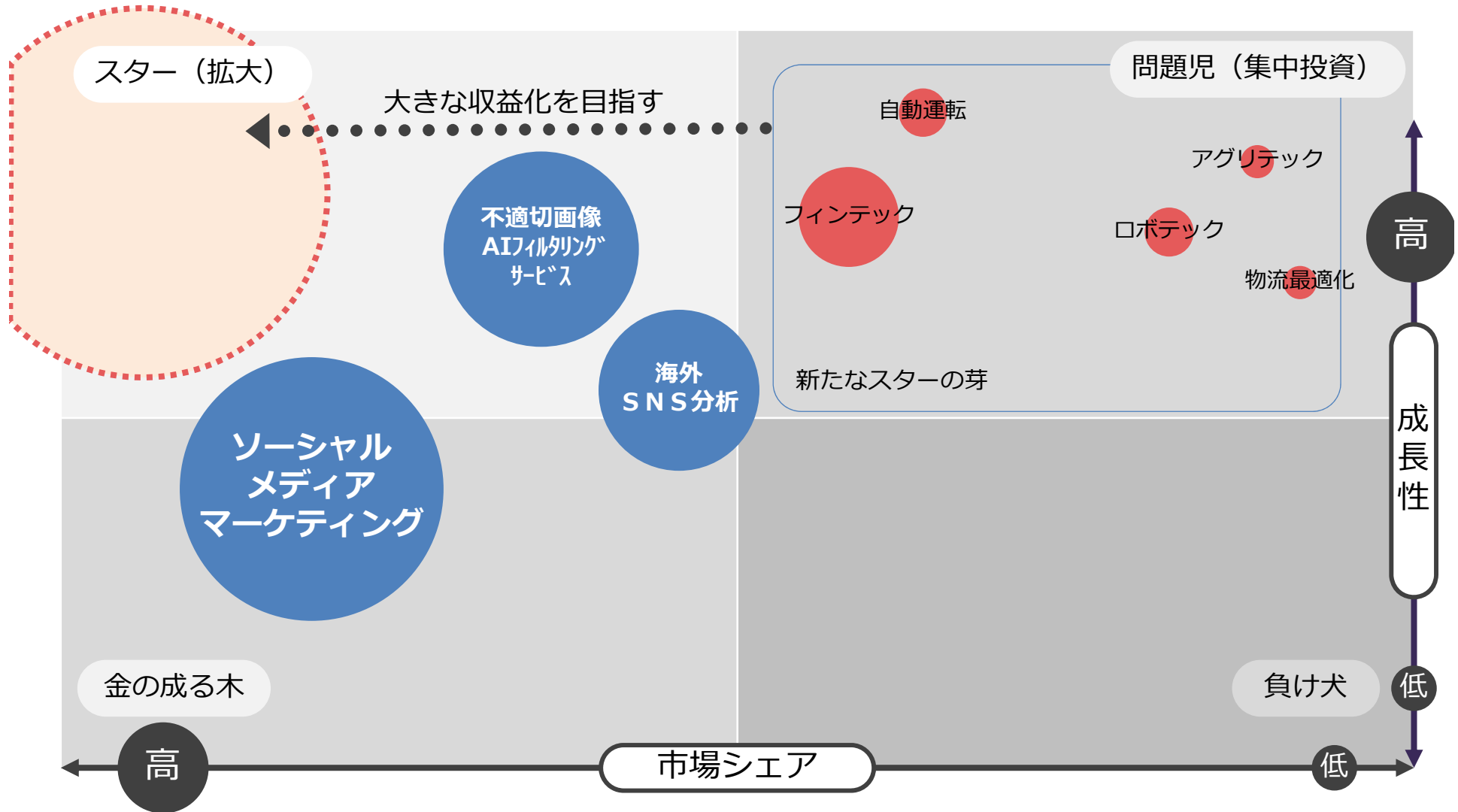


#### 3Qの取り組み

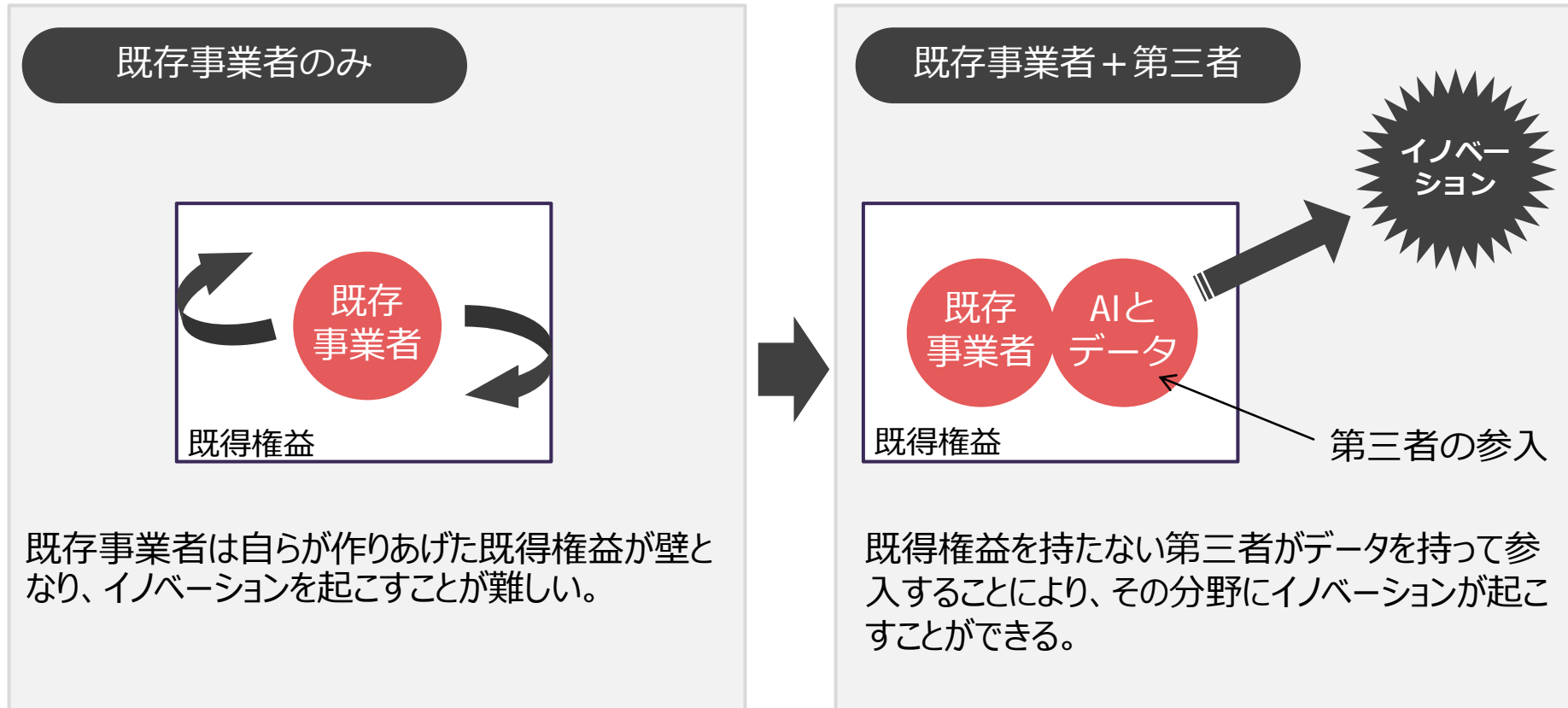
#### ベトナムに加え、タイ、インドにて事業を展開

新たにタイ、インドにて事業を展開。不適切画像フィルタリングサービスなどの既存ソリューションの販売だけでなく、防犯カメラの画像解析による交通事情の改善、農地のマクロデータ解析による農業支援、医療画像の解析による診断サポート等を検討している。

# スターの芽を成長させ 大きな収益化を目指す



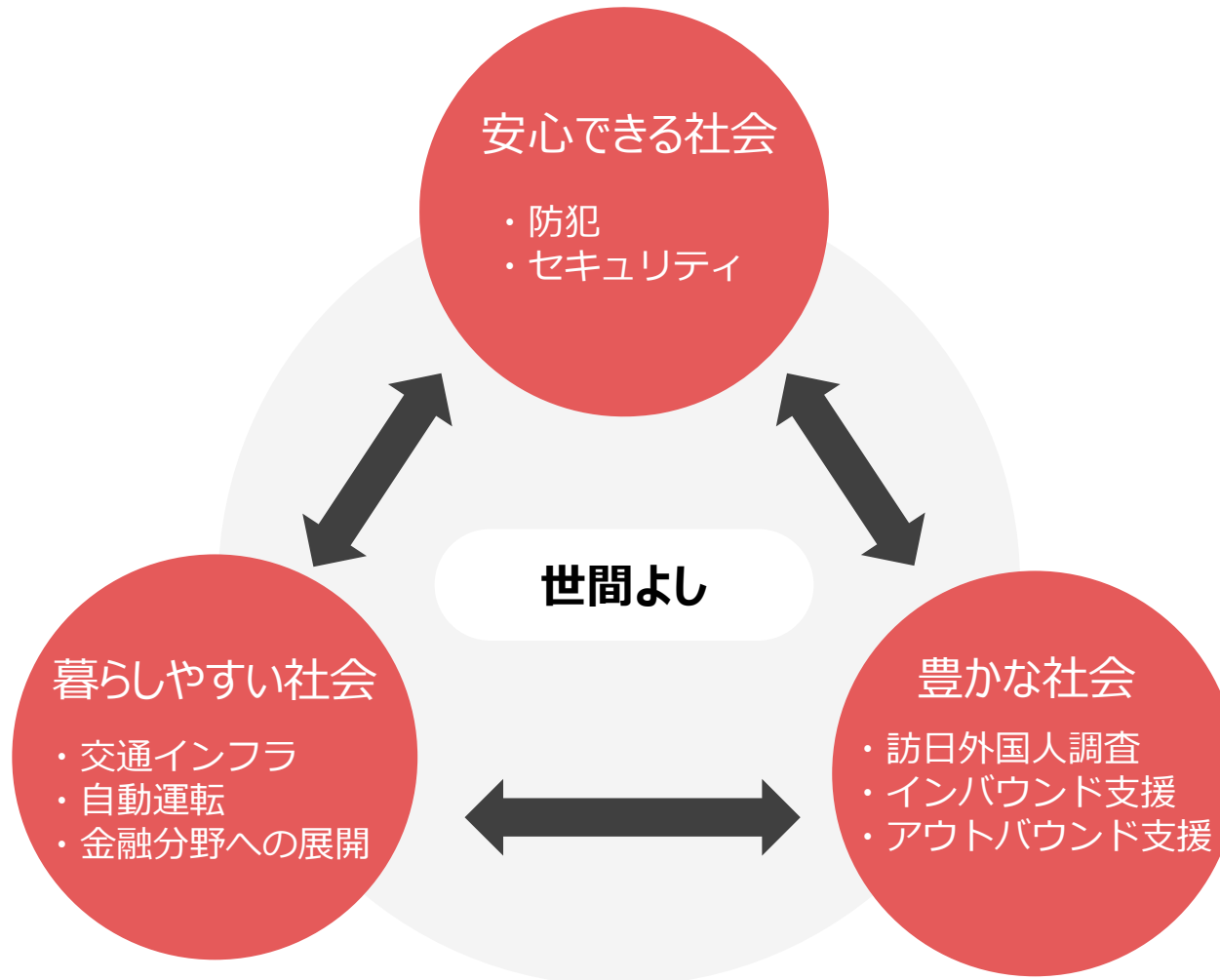
# AIとデータでイノベーションを生み出す



データセクションはAIとデータで、様々な業界の革新的なビジネスの創出を実現いたします。

# 売り手よし、買い手よし、世間よし

社会インフラとしての価値を創出するべく、公共性の高い事業への積極的な取り組み







未来のビジネスを AIとデータで創造する

- 本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。